



## 厚い思い …たまり場…

会 員 北 市 安 子

たしか十年前の夏真っ盛りの頃だったと思います。それまで“むくどりの家”が借りていた野口邸をそのまま精神障害者の為に利用できないだろうかという提案が川田さんから出されました。

最初は、通所交通費のことで、作業所のスタッフが集まった時のことでした。野口邸の二階でむし暑い夕方、蚊に刺されながら、話し合ったのを覚えています。

仕事を終えて現地へ行けるのは六時過ぎ。三々五々集まって来るメンバー、家族、ボランティア、障害者施設のスタッフや病院や区役所のワーカーが揃うのは、どうしても六時半過ぎになってしまいます。それから会議が始まります。

そんな中で、強く印象に残ったのは、今は亡き長戸さんが、「僕らの身銭を切っても“集まれる所”を作ってほしい」という厚い思いでした。長年作業所へ通っていた人から出てきた強く熱心な偽らざる気持ちだったのではなかったかと思えます。

会議は、多い月は毎週のように開かれ、幾度も回を重ねて、十二月に開所の運びとなったのです。メンバーはじめ皆さんの汗と涙の結晶が「共に歩む市民の会」の“たまり場”だと思っています。メンバー、ボランティアがペアを組んで、鍵当番に入ることが決まり、利用が開始されたと記憶しています。

そんなある日、“たまり場”の美しい日本庭園が、雑草や落ち葉で汚らしい状態になりました。いや、これは独りでは大変と思いき声をかけさせていただいたのが、以前から葦の会でご協力いただいていた多和田さんと松元さんでした。

この庭は、桜や松、楓椿こぶし、南天、しゃくなげ、ひめしゃら橙等々いろいろな木が植えられ、あちこちに庭石が置かれ、灯籠をあしらった趣味を凝らしたなかなか行き届いた豪華な庭でした。

三人で草抜きや落ち葉集めをした後、広縁で、日向ぼっこ洒落込んで、美しくなった庭を眺めながら、お弁当を食べたひとときは、これもまた、楽しい幸せな思い出となりました。

他にも、メンバーと一緒にいった宿泊研修やバザー等沢山の素敵な思い出があります。精神保健分野で仕事をさせていただいたことで、私の人生は豊かになりました。本当に有難うございました。これからもよろしく願います。皆様のご健康お祈りいたします。



# 共に歩む市民の会10周年によせて...



今回、「共に歩む市民の会」10周年によせて、会の立ち上げ当初から現在まで深く関わってくださった方々から、一言ずつコメントをいただきました。

## ◇ 青柳 奈美さん

10年前のあの暑い夏の日旧たまり場に集まり、場所は作りたいが維持費確保が難しく話が煮詰まった時、メンバーの「一月500円出すよ。」の一言に皆の気持ちが1つに…。あの一言がなかったら10周年を迎えることは無かったのです。20年30年と共に歩んでいけることを願っています。

## ◆ 太田 三郎さん

10周年おめでとう御座います。当市民の会発祥時は何も無く『当事者へ福祉を！』の熱い信念が唯一の事です。今後、生活支援拠点は益々重要になりその活躍が期待されます。私達家族会も一員となり共に歩んで行きたいと思えます。ご健闘を祈ります。

## ◇ 川田 剛さん

当事者パワーを軸としたボランティアパワー。それが「たまり場」から今日までを引っ張ってきた。この原点を忘れるまい。ひとつひとつ悩み、笑い、語り合ううちにじわりじわりと地域に浸みこんでいけたらと願っています。

## ◆ 紺野 義彦さん

「共に歩む市民の会」10周年おめでとう！今後とも、地域の拠点から利用者の立場になり、精神保健福祉活動を続けていきましょう！！

## ◇ 高野 静子さん

共に歩む市民の会も、この10年、あけぼの会の高橋さん、当事者の田山さんが代表をつとめ、当事者中心とした会として活動してきた。これからも、自立支援法の中、誰と共に歩む会なのか、田山さんががんばろう！

## ◆ 高橋 成忠さん

平凡でも心豊かな市民でありたいと思えます。心の温かい誰かと「共に歩む」ような…。なかなか日常活動に参加できませんがこれからもよろしく願いいたします。

## ◇ 田山 裕文さん

僕がかかわってから、9年になりましたが、自分も成長してきたかなあと思っています。今後も会に関わっていきたくて思っています。多くの当事者の人達が参加できる様な会になりたいと考えてます。今後とも宜しく。

◆ 深井 浩治さん

なにわともあれ 10 年、のんびりした雰囲気が始まり、時は流れ忙しい日々が続く変化の多い時期に入った。これはまだまだ成長していく段階だからだろうか？期待と要望はまだまだ続くのだろう。

◇ 松迫 敦子さん

人々が集い自由に夢を語り合い、その夢を形にし更に発展を続けるパワーが生み出され、またそこに共に歩もうとする多くの人々が集い、夢を語り合う。この不思議で素敵な連鎖の次の 10 年を楽しみにしています。



◆ 松元 紀子さん

この度 10 歳を迎える「共に歩む市民の会」は、2 年前「ほっとぽっと(旭区地域生活支援拠点)」を生みだしました。当事者主役という事で、成人式に向け共に前へ歩いてまいりましょう。どうぞ宜敷く…

◇ 吉田 和子さん

野口邸(旧たまり場)に毎週のように集まり蚊に刺されながら話し合ったあの夏から、もう 10 年が経ったのですね。全く無からの出発に戸惑う声に対して強く背中を押してくれた今は亡きメンバーの N さん、M さん。ピア活動、地域との交流など大きく広がりを見せてきている現在の「ほっとぽっと」の活動を、きっとほほ笑みながら見守っていることでしょう。

(以上 理事)

◇ 瀬崎 忠雄さん

喜びの遊び

「少女パレアナ」という小説に出てくる少女は、両親が亡くなり叔母の家に預けられ、辛い仕打ちをうけました。しかし、そんな中でパレアナは「喜びの遊び」というゲームを始めました。パレアナは言います。…「ええ、『何でも喜ぶ』ゲームなの。…なんでも喜ぶことなのよ。喜ぶことを何の中からも探すのよ。」毎日、いつも、喜んでいたいと思います。「喜びの遊び」貴方もしませんか。

◆ 田上 和則さん

十周年おめでとうございます。たまり場の時からお世話になり、現在も毎月第 3 日曜日の午後使わせていただき感謝します。アルコール依存症の回復にきっかけとなる横浜マックも助けられています。今後共どうぞ宜しく。



(以上 監事)

◇ 佐伯 彰さん(ほっとぽっと囑託医)

昔むかし、旭区を中心に精神医療や福祉を考える会がありました。初めは専門職といわれる方が集まり、徐々に市民や当事者も加わりました。この集まりは地道ながらもしっかりした歩み続けました。そしてその参加者もゆっくりと成長しました。そして生み出されたのが「共に歩む市民の会」のように思われます。この間に当事者の大きな成長もありました。これからも歩いていきましょうか、まずは「めでたし、めでたし」。

◆ 足立 文夫さん(ピア)

共に歩む市民の会が10周年を向かえ、自分が幹事として関わってから8年が経ちそれまで知らなかった、各関係機関とも知り合い、自分の世界観が広がり今では幹事会世話人をし、幹事会での司会もしている。

◇ 白石 大介さん(ピア)

おかげさまで10周年。これからも当団体が旭区と共に未来を拓く存在として、永遠に栄えていく事を心よりお祈りします。

◆ 寺本 道代さん(木々の会・ボランティア)

共に歩む市民の会ってとても具体的で、皆の思いが詰まった名前だと思います。私はとても好きです。週一回ほっとぽっとで夕食作りをしている時、自分の小さい力が役立つことのうれしさを感じます。皆の小さい力を出し合ってもっともっと楽しい、役立つ場所になってほしいと思います。

◇ 布留川 謙司さん(ピア)

10年で一段落して、また次の10年が続くと思います。市民の会に入会して、学んだ事は沢山あります。やはり当事者の事が気になります。これからも無理せず、いろいろな人と、かかわりあって行きたいです。

◆ 堀口 和実さん(職員)

当初の原点をみつめ直し、そして、20周年に向けて、これから何を目標とするか、みんなで語り合う機会として、この10周年をとらまえるのも、意義のあることではないだろうか？ 当時に戻る事より可能性がみえてくることもあるだろう。

◇ 前野 幸子さん(ボランティア)

10周年おめでとうございます。語らい電話でお話を聞かせて頂き、ご本人はもとよりご家族の皆様のお気持ちを感じる時、年月の重さをひしひしと感ずります。共に歩む市民の会の裾野が少しずつ広がって行くことを願っています。

◆ 村木 雄一さん(葦の会)

「たまり場を作ろう」当時の仲間は皆が集る所を創るために集りました。無いものは皆で作ろう！ すごいエネルギーでした。その場を維持することは、作ることと同じ、いやそれ以上に難しいことです。でも作ることを知っている仲間は強いです。

◇ 綿貫 薫さん(ボランティア)

「語らい電話」の発足時より、かけ手の言葉に耳を傾けている内に喜びも辛さも一緒に味わっている私をそこに発見した時、共に歩むという言葉の持つ意味の重さの一端が、ほんのすこしだけ見えて来た様な気がします。



# 2007 旭区民ふれあい祭り



10月28日(日)に、第18回旭区民ふれあい祭りが開催されました。昨年にひきつづき、今年もほっとぽっとは自治会・町内会コーナーで参加しましたので、その様子を葦の会の村木さんにお伺いしました。

葦の会 村木 雄一

葦の会は、今年の旭区民祭りの出店を、自治会コーナーでほっとぽっとの実行委員会の一員として参加させてもらいました。区内で活動する精神保健福祉の団体の一つとして、みんなで活動する事が大切だと考えました。自治会長さんのご挨拶からはじまったコーナーでしたが、会長さんの挨拶がとてもすてきでした。病や障害のことを家族や身内の問題として考えましょうというメッセージを聞いたとき、ほっとぽっとの活動や私たち精神保健福祉団体の活動がこの町に根付き始めたことを感じました。

土と愛こどもの家保育所の子どもたちの太鼓や商大高校の太鼓もとてもよかったです。来年は今年以上に区民の方が、自治会コーナーに来てくださるように皆さんと協力していきたいと思えます。



## 別館ギャラリー

「地域ふれあい事業文化班の活動を通して私の思う事」

ほっとぽっと地域ふれあい事業文化班（ピア）の金髪男 和田 公一

今年度よりほっとぽっとにて地域ふれあい事業が発足し、川田施設長より「和田さんは、元カメラマンだから文化班やってくれる？」といった鶴の一声で（笑）、私は文化班をあっさり引き受けました。仕事をまかされる事はうれしい事です。障害者にとって「自立」とは何でしょうか？私の通うデイケアでは、「一般就労」イコール「自立」と考えている人が多い様です。でも私はそれだけではないと思えます。ほっとぽっとを通して無償の仕事をもらい、社会貢献を実現させていく事、そういった活動を続け、自分の生活の充実を自らプロデュースする事も「自立」のひとつのあり方だと私は考えています。

我が文化班は、おかげ様でこれまで3つの企画を実現させました。「大好き展」開催から始まり、「あなたにときめき展」開催に続き、「町田直之展」鑑賞会の3つの実現です。人間には感性があります。感性は、健康な人も、障害を持っている人も持っています。そして感性がある限り、芸術は生まれます。そういった観点から考えると、芸術を作り、それに関わる事は、多弁な表現ではありませんがノーマライゼーションに向けての活動と言えるのではないのでしょうか？どうぞ今後も、文化班の活動に注目して下さい。ギャラリーに来て下さい。そして、私達に関わり、共に考えて下さい。私達のこの活動を長期に渡って実現していくには、皆様の理解と協力が必要になると思えます。よろしくお願い致します。まだまだ我々の課題は山積みですが、失敗しながら、続けていく事に、きっと「学び」があると考えています。

# 会員紹介



今年で9年目を迎えた『共に歩む市民の会』ですが、現在約100名もの方々がこの会の活動に賛同し、会員となってくださっています。

そんな会員の皆様の素顔をちょっとずつご紹介していきたいと思っております♪

第5回目はこちらの方です。

## No. 9 : 中沢 美子 さん

リサイクル活動へ色々の献品をいただいた事がご縁でお知り合いになった中沢美子さん(藤沢市在住)が会員の仲間入りしてくださいました。障害を持つ息子さんと生活しておられる方です。ご本人の了解をいただき、お手紙をご紹介させていただきます。

こんにちは。暑い暑い夏でした。

「ほっとぽっと」の資料など送って頂きありがとうございました。

すぐに手続きをと思いつつ息子の通所施設が夏休みとなり、暑さもあって外出することなく親子で引きこもりの日々でした。

今、台風がこの辺りを過ぎ、風は強いものの少し落ち着いた様子です。これから友人が来宅の予定なので、帰りに郵便局へ寄ってもらおうと急いで書いています。

大したことは出来ませんが、それぞれが自分のできることを少しずつ出し合うことで、それがつながったときに、思いも舎め何んらかの形になればと思っています。我が家の息子は、手術後、記憶・言語に著しい障害がみられ、通所もなんとか午前中、といったところで、生活レベルの低下が辛いところです。これからどうしたらよいのか大きな課題です。

楽しい目標をみつけながら、生きることを大切にしていきたいと思っています。(後略)

九月七日

中沢

## ◆◇◆◇◆【新規入会・ご寄付 ありがとうございます!】◇◆◇◆◇

◇ 新入会員の方がた(8/15~12/15) 敬称略

中沢美子 松下曜子 小林田鶴子 蓮見理恵 宮澤 好 佐藤裕子

◆ ご寄付くださった方がた(8/15~12/15) 敬称略

中沢美子 志沢希久子 田中良子 宮澤 好



# ボランティア亭さん



『共に歩む市民の会』のボランティアの日頃の思いをつづるリレートーク。  
前回の語らい電話のWさんからバトンを手渡されたのは・・・  
第5回は語らい電話のKさんです。

私には千の風になった息子がいます。最高の医療を受けましたが、産声をあげてから一年半の入院生活で、一度も家に帰ることなく生涯を終えました。息子の為に費やす予定だった多くの時間を、誰かのお役にしたい！という想いでボランティアを始めました。

語らい電話に関わったおかげで、いろいろな経験をさせてもらいました。そんな中で、友人のAさんの息子さんが軽いうつ病になったのを早く気づき対応することができました。大学を一ヶ月休学するだけで元気になりました。Aさんより“あなたに相談して良かった”と感謝されました。

また、昨年姪が詐欺の被害にあい、統合失調症を発病してしまいました。でも、ミーティングで学んだように姉家族と共に冷静に対応したおかげで、この夏から社会復帰できるようになりました。

日常生活、日頃の人間関係等、ボランティアに参加させてもらっただけで、数々のプラスに出会いました。

今回は感謝をこめて書かせてもらいました。ありがとうございます。

語らい電話 Kさんより

## ～事務局ニュース～

### ★ お知らせ・ご案内

#### ○ ほっとたつはな亭・新春コンサート『リコーダーの愉しみ』

1月30日(水) 午後2時開演(開場は1:45) ほっとぽっと別館サロン

1年前にもご登場いただいた吉沢実さんの爽やかで奥深い音色をお楽しみ下さい。NHK番組でもおなじみで根強いファンの方がいます。愉快なおしゃべりも乞うご期待。参加費は障害者手帳お持ちの方は500円、市民の会会員の方は800円、一般1000円です(飲物・ケーキ付)。要予約。

#### ○ 貸しギャラリー始めます

ほっとぽっと別館1階洋室(通称・サロン)をこれまで会議等にご利用いただけてきましたが、貸しギャラリーとしても皆さまにお使いいただけるよう準備を進めております。期間は1週間を基本として考えています。作品発表の場等にどうぞご利用下さい。詳しくはお問い合わせください。

#### ○ 第九回精神保健福祉セミナー 2月28日(木) 午前10時～ 旭区公会堂(旭区役所4階)

「可能性を信じて一歩外へ ～つながって、みつけよう、自分の道！」をテーマに区内の当事者による体験発表(午前)と講演会(午後)を行います。講演会は上森得男氏(厚木市家族会)と鈴木治郎氏(県障害者自立生活支援センター)をお招きします。【旭区サービス課と市民の会の共催行事】



## ～事務局ニュース～

### ★ 第16回理事会報告

11月14日(水)開催 18:30~21:30 ほっとぼっと 理事出席9人(欠席2人)

〈審議事項〉・下半期事業計画・予算について…退院促進支援事業・ピア研修事業を中心に審議  
・10周年記念事業について審議…記念のイベントは行わず、新たな10年に向かう展望を見出すために最初のプランを検討するチームを立ち上げる事など決定  
・その他…会のパンフレット作成について、賞与等労務関係の事項について審議  
〈報告事項〉上半期事業・会計報告/会員登録状況/ピアスタッフについて

○次回理事会は3月12日(水)に開催予定。



### ★ お礼・ご報告

9月上旬に会員登録情報アンケートを実施しました。これは、情報更新と会についてのお考えを伺うことを目的として初めて実施したものです。お返事いただいた情報は更新致しました。また、「イベントなどにボランティアとして参加したい」という心強いお申し出もいただきました。ご協力ありがとうございました。なお、今後も登録情報の変更が生じた際はご連絡ください。

### ★ お知らせ

前号から、市民活動支援センター桜木町(桜木町駅下車)と市民活動支援センター戸塚プラザ(東戸塚駅下車)に市民の会会報を置かせていただけるようになりました。なんと嬉しいことにバックナンバーもファイリングして閲覧できるように整備していただいています。まだ、会を知らない多くの方に読んでいただけることを期待します。

### 編集後記



❁「人」という字をしみじみ眺めて居ります。沢山の支えて下さる方たち、「ありがとう！」これからも宜敷くお願いします。・・・松元

❁職場が新しい場所に引っ越しました。心機一転良い年を迎えられたらと思います。語らいボランティアの文章にいつも励まされる気持ちがします。・・・森

❁去年は脇目もふらず？走った。今年はうろちょろきよろきよろといきまチュウ。・・・川田

❁「あっと言う間の一年でした。」と年末になると言い続けて早？十年。いつか広報誌に負けない位充実した一年を送りたいものです。・・・松迫

❁皆さんの10年分の気持ちを載せたら、こんなボリュームになってしまいました(笑)寝正月のお供に、ぜひどうぞ♪・・・高木